

情報公開文書

課題名 :四肢長管骨および骨盤骨折における手術療法の臨床成績および合併症に関する研究
研究期間: 倫理委員会承認日～2025年3月31日

1. 研究の対象

2014年4月から2019年3月までに四肢長管骨および骨盤骨折に対して手術加療または保存治療が行われた20歳以上の方

2. 研究目的・方法

大腿骨や上腕骨、橈骨などの四肢長管骨、骨盤部の骨折は一般的によく起こります。四肢長管骨および骨盤骨折の治療は、その骨折型に応じて、安定型であれば保存加療、不安定型であれば手術加療が実施されています。しかし、その治療方法の選択にあたっては患者さん毎の全身状態なども含めて整形外科医により治療法が決定されています。しかし、これらの四肢長管骨骨折および骨盤骨折のその後の経過、臨床評価については、単施設からの散発的な報告以外には大規模な調査は存在しないのが現状です。そこで本研究では多施設において四肢長管骨及び骨盤骨折の保存加療例と手術症例を収集することで、四肢長管骨および骨盤骨折の手術治療における臨床成績と合併症について調査したいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴、既往歴、骨折部位、骨折型、受傷機転、手術待機時間、手術時間、手術材料、術後免荷期間、骨癒合の有無(術後6か月、12か月)、日本整形外科学会臨床評価基準(受傷前、受傷後1年)、合併症等

4. 外部への試料・情報の提供

上記3. のデータを診療情報から抽出し、個人が特定されない形で情報を名古屋大学医学部附属病院整形外科へ提供されます。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者:名古屋大学医学部附属病院 整形外科 病院助教 竹上靖彦

研究参加施設

安城更生病院 整形外科 部長 小口武
県立多治見病院 整形外科 部長 高津哲郎
中部ろうさい病院 整形外科 部長 岡義春
豊田厚生病院 整形外科 部長 金山康秀
長野赤十字病院 整形外科 部長 出口正男
名古屋掖済会病院 整形外科 部長 熊谷寛明
名古屋第一赤十字病院 整形外科 部長 井上英則
名古屋第二赤十字病院 整形外科 部長 安藤智洋
半田市立半田病院 整形外科 部長 石田義博
刈谷豊田総合病院 整形外科 部長 松原祐二
トヨタ記念病院 整形外科 部長 酒井忠博
碧南市民病院 整形外科 部長 松原浩之
上飯田第一病院 整形外科 部長 良田洋昇
中津川市民病院 整形外科 部長 丸山浩司
一宮市立市民病院 整形外科 部長 花林雅裕

江南厚生病院 整形外科 部長 金村徳相
西知多総合病院 整形外科 部長 伊藤靖
市立四日市病院 整形外科 部長 奥井伸幸
久美愛高山病院 整形外科 部長 田口勝啓
名古屋記念病院 整形外科 部長 小澤英史
豊橋市民病院 整形外科 部長 山内健一
渥美病院 整形外科 部長 市川恒信
浜松医療センター 整形外科 部長 岩瀬敏樹
東海中央病院 整形外科 部長 篠田昌一

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である名古屋大学医学部附属病院が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 副院長・整形外科部長 岩瀬 敏樹(当院研究責任者)
〒 432-8580 静岡県浜松市中区富塚町 328
Tel: 053-453-7111

研究代表者:名古屋大学医学部附属病院 整形外科 病院助教 竹上靖彦